

バイオマス・地域資源の活用

【日時】

2010年7月9日(金)13:30~16:50

【場所】

いわて県民情報センター アイーナ 8F会議室804A
(盛岡市盛岡駅西通1-7-1)



糖質の応用と地域活性化の視点から、岩手地区講演会「バイオマス・地域資源の活用」を開催いたします。昨今のグローバル化した経済情勢の中、閉塞感の打破と循環型社会形成のために、環境に配慮したイノベーションが求められています。今回、4人の講師から、「テンブンなど地域資源を活かす食品工学的アプローチ」、「木質バイオマスの糖化率を向上させるタンパク質因子」、「未利用資源を対象にした粉碎技術と酵素分解」、そして「セルロースのような非水溶性食物繊維の機能性」を題材に、「モノ創り」から「臨床評価」まで、イノベーションと高付加価値化に必要な戦略をご紹介します。

プログラム

13:30-13:40	開会の辞	日本応用糖質科学会東北支部長 弘前大学副学長 加藤 陽治
13:40-13:45	幹事挨拶	一関工業高等専門学校 戸谷 一英
13:45-14:25	「地域農林畜水産物を活用した食品開発—モノ創りの本質—」	岩手大学 応用生命科学系農学部 三浦 靖
14:25-15:05	「いもち病菌由来細胞壁分解に関与するタンパク質の解析」	岩手生物工学研究センター 生物資源研究部 竹田 匠
15:05-15:20 休憩		
15:20-16:00	「キチン系未利用資源のメカノケミカル粉碎と酵素糖化—粉と酵素で糖を作る—」	一関工業高等専門学校 物質化学工学科 中川 裕子
16:00-16:40	「非水溶性食物繊維の機能」	石巻専修大学学長 坂田 隆
16:40-16:50	閉会の辞	
17:30~	懇親会 (マリオス20F カフェテラス スカイメトロ)	



日本応用糖質科学会東北支部
総会のご案内

11:30-12:30 東北支部役員会
12:50-13:20 東北支部総会



【主催】日本応用糖質科学会東北支部

【共催】(国大)岩手大学、(財)岩手生物工学研究センター、
(独)国立高等専門学校機構一関工業高等専門学校、青森糖質研究会

【参加費】無料(懇親会:3,000円)

【問合先】一関工業高等専門学校物質化学工学科 戸谷 一英

Tel: 0191-24-4675 Fax: 0191-24-2146 E-Mail: ktotani@ichinoseki.ac.jp